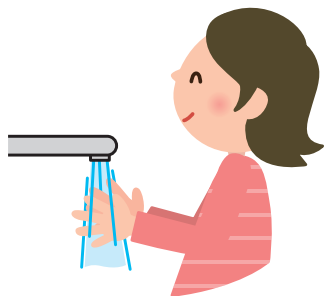


6 感染予防

エキノкокクスに感染しないよう次のことを心がけましょう。

①外から帰ったら必ず手を洗うこと。



②キツネに餌付けをしたり、触ったりしないこと。

③キツネが近寄らないよう、生ゴミ等は適正に処理すること。

④飼い犬が野ネズミを食べないように、放し飼いにしたり野原や公園で放さないようにすること。

⑤山菜や野の果実等は十分に加熱もしくはよく水洗いしてから食べること。

⑥沢水等のなまの水は飲まないこと。飲む場合は煮沸すること。



犬を連れてきている方へ

- 犬は野ネズミ（エゾヤチネズミ等）を食べた感染するので、キャンプ場・野原等では、犬を放さないようにしましょう。
- 犬が野ネズミを食べた可能性がある場合には、動物病院に相談してください。（犬がエキノкокクスに感染しても症状はなく、薬で駆虫できます。）

エキノкокクスを道外に持ち出さないよう、ご協力をお願いします。

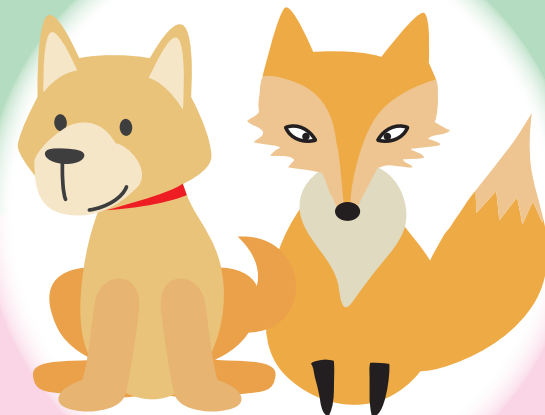


エゾヤチネズミ
(体長10cm程度の小型のネズミです)



北海道にお越しの皆様へ

エキノкокクスを 知っていますか？



エキノкокクス症を予防するために、正しい知識を身につけましょう

北海道保健福祉部
☎011-204-5262

1 基礎知識

私たちの住んでいる北海道には、エキノコックス症という他の都府県ではあまり見られない病気があります。この病気はエキノコックスという名前の寄生虫が主に肝臓に寄生しておこる病気で、道内では毎年20名程度の患者が見つかっています。

エキノコックス症を予防するために、正しい知識を身につけましょう。

2 感染経路

私たち人間は、虫卵に汚染された野菜、山菜や沢水を直接口にしたたり、虫卵に汚染された手指を介して感染し、野ネズミと同様にエキノコックスの幼虫が肝臓に寄生します。

人から人に感染したり、野ネズミから人に感染することはありません。

3 症状

人にエキノコックスが感染しても、すぐには自覚症状が現れません。無症状のまま見つかる人もいますが、数年から10数年の潜伏期間を経て、上腹部の不快感や膨満感が出現し、しだいに肝機能障害に伴う疲れやすさや黄疸等の症状が現れ、**放っておくと病巣が転移し、命にかかわることもあります。**



4 エキノコックス



成虫

体長3mmほどの細長く白い虫です。



卵

直径0.03mmの球形で肉眼では見えません。



幼虫

野ネズミの肝臓に寄生した幼虫です。袋のような形をしています。

5 寄生のサイクル

エキノコックスは、自然界においては、主にキツネと野ネズミに寄生しています。

- ①成虫は、キツネの腸に寄生して卵を産み、その卵が糞と一緒に排出されます。
- ②野ネズミがエサなどと一緒にこの卵を食べると、野ネズミの体内で卵がかえって幼虫となり、肝臓に寄生します。
- ③この幼虫が寄生している野ネズミをキツネが食べると、キツネの腸の中で幼虫が成虫になります。

エキノコックスは通常、キツネと野ネズミの「食べる」「食べられる」の関係の中で生きています。

また、犬もキツネ同様に野ネズミを食べると感染しますので、犬の飼い方には注意が必要です。

